

2024 年 8 月 14 日
九州旅客鉄道株式会社

ＪＲ九州高速船株式会社における安全確保に関わる重大な問題の発生について

クイーンビートルを運航するＪＲ九州高速船株式会社におきまして、安全確保に関わる重大な問題が発生しましたのでご報告します。経緯は下記の通りです。

記

1. 概要

2024 年 2 月、船体への浸水が認められたにも関わらず国土交通省への報告を怠たり、日々の異常の有無を報告する航海日誌、メンテナンスログ等に記載せず、別途浸水に関する管理簿を作成。

さらに 2024 年 5 月、警報センサーの位置をずらした。

2. 経緯

<2023 年>

- 2 月 11 日 船首区画の浸水警報が作動し、同区画への浸水を確認
- 2 月 12 日 ダイバースチェックによりクラックを確認
応急措置後、九州運輸局及びＪＲ九州へ未報告のまま運航継続
- 2 月 14 日 ドック手配、修理計画の説明に九州運輸局を訪問した際、臨時検査受検・終了までの間の運航停止を指示され、同時にＪＲ九州へ報告
- 2 月 15 日 海上保安庁へ報告
- 2 月 15 日 国土交通省がＪＲ九州高速船を監査
～17 日
- 2 月 23 日 応急的修理のためドック入渠
- 3 月 1 日 臨時検査終了
- 3 月 3 日 国土交通省海事局長宛に「発生事案の分析及び今後の対策について」を提出
当面の改善方針が示されたとして、国土交通省より運航再開を承認
- 3 月 5 日 運航再開
- 6 月 9 日 恒久的修理のためドック入渠
- 6 月 20 日 恒久的修理完了
- 6 月 21 日 運航再開
- 6 月 23 日 国土交通大臣より「輸送の安全の確保に関する命令」を受領
- 7 月 20 日 ＪＲ九州高速船より改善報告書（安全確保のための基本方針「4 つの柱」）を国土交通大臣宛に提出

〈2024 年〉

- 1 月 4 日 浸水を確認もクラックは確認出来ず。九州運輸局へ報告後、経過を観察
- 1 月 12 日 九州運輸局より、状況改善が見られないことから、運航停止及び臨時検査受検の指示あり
- 1 月 13 日 運航停止・ドック入渠（ドックは1月17日～）
- 1 月 22 日 臨時検査終了
- 1 月 25 日 運航再開
- 2 月 12 日 少量の浸水を確認したものの、九州運輸局に報告せず
- 同 浸水量に関する管理簿を作成、以降、浸水を認めた場合は浸水量を管理簿に記載する一方で、航海日誌、メンテナンスログ等には異常無しと記載
- 2 月 20 日 ボートでの外板チェックの結果、喫水線より上部に疑わしい個所を発見
- 4 月 3 日 ドックにて応急措置を行うため、7 月 16 日よりドック入渠を決定
- 5 月 27 日 博多港帰着時のチェックで浸水量が増加したことを確認
- 5 月 28 日 浸水警報が鳴動しないよう警報センサー位置を上部にずらす
ドック入渠日を6月初旬に早める手配を開始
- 5 月 30 日 浸水量が更に増加、浸水警報が発動したため、九州運輸局へ報告
- 5 月 30 日 運航停止・ドック入渠
- 7 月 4 日 臨時検査終了
- 7 月 11 日 運航再開
- 8 月 6 日 国土交通省がJ R九州高速船を監査。乗務員の聞き取り調査を実施した結果、浸水を九州運輸局へ未報告であることが発覚
- 8 月 7 日 国土交通省によりJ R九州高速船社長他取締役への事情聴取の結果、本件事象を確認

3. その他

現在、国土交通省による監査は継続中であり、処分決定時期及び内容については未定

以上